

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関(門扉)施錠を行なっている。以前より課題として改善する項目にあがっているが立地上道路がすぐ目の前にあるので危険なため鍵は必要としている。来訪者や地域の方が気軽に行き来できるかという面では閉鎖的である。	現在フロアの行き来は自由に出来るようにフロア内の浴室をはさんで行えている。(入浴中でもパーテーションを設置しプライバシー確保)玄関の施錠をどうしていくかを考え少しの時間から開放時間を設けていく。	同敷地内に小規模多機能型居宅介護があり送迎の時間帯は門扉を開放する事からはじめていく。7:30~11:00/17:00~19:00日中を開放して行けるよう利用者様の様子を見て進める。	1年
2	35	消防訓練時外階段を利用する事が困難。(通常使用せず慣れていない怖さがある)消防署員より無理せず火元から一番遠い場所に避難し後は救助が来るのを待つよう助言があった。	環境整備を定期的に行なう。無理せず避難する事が一番だが環境を整える部分では必要。	外階段の為落ち葉や雨、汚れなどでぬめりなどがある。定期的に清掃をしすべらないよう環境を整える。	6ヶ月
3	35	消防訓練時外階段を利用する事が困難。(通常使用せず慣れていない怖さがある)消防署員より無理せず火元から一番遠い場所に避難し後は救助が来るのを待つよう助言があった。	下肢筋力の低下を予防。	現在も歩行可能な方には内階段を利用したり体操をしている。その継続と屋上利用も兼ねて散歩など。	6ヶ月
4					月
5					月